

再 評 価 調 書 (案)

I 事業概要					
事業名	農業農村整備事業（かんがい排水事業）				
地区名	神野新田地区				
事業箇所	豊橋市神野新田町				
事業のあらまし	<p>本事業の対象地域は、豊橋市の西部に位置する受益面積 310ha の水稻を主体にキャベツ等露地野菜の複合経営がさかんな農業地域である。</p> <p>本地区の用水路は 1972 年から 1975 年にかけて団体営かんがい排水事業により開水路として整備されたが、整備後 40 年以上経過し、老朽化が進んでいる上、水管理に多大な労力を要しており、経営規模の拡大等に支障を来たしていた。</p> <p>このため、用水路を開水路からパイプラインに改修し、維持管理の軽減、農業用水の安定供給により農業経営の安定化と担い手農家の農地利用集積を進めることを目的として、2016 年度からかんがい排水事業を実施しており、2023 年度に完了する計画である。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>用水路を開水路からパイプラインに改修し、維持管理の軽減、農業用水の安定供給により農業経営の安定化と担い手農家の農地利用集積を進める。</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時(2015)	再評価時(2021)	変動要因の分析	
	事業期間	2016～2021	2016～2023	仮設計画変更による延長	
	事業費（億円）	24.0	29.0		
	経費内訳	工事費	21.2	26.1	工法変更による増 労務資材費の増 (2015 年単価→2021 年単価)
		用補費	1.2	1.0	精査による減
その他		1.6	1.9	精査による増	
事業内容	用水路工 5.7km (揚水機場 1 箇所)	用水路工 5.7km (揚水機場 1 箇所)			
II 評価					
① 事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>本地区の用水路は、整備後 40 年以上経過し、老朽化が進んでいる上、水管理に多大な労力を要しており、担い手農家への農地の集積に支障を来たしている。</p> <p>担い手により将来にわたって地域農業を支えることができるよう、用水の安定供給、水管理の省力化に資するパイプライン化が必要である。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>本地区では、依然として水管理に苦慮しており、パイプライン化が必要な状況は継続している。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>用水の安定供給・水管理の省力化は、パイプライン化により効果を発揮するため、事業の必要性は依然として高い。</p>			
	判定	B	<p>A：事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>ⓑ：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		
		<p>【理由】</p> <p>本地区では、依然として水管理に苦慮しており、パイプライン化が必要な状況は継続している。</p>			

② 事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】										
			2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	計	
	工種 区分	調査設計	←		→							
		用地補償		←						→		
		工事		←		→						
		・用水路工		←		→						
		・揚水機場		←		→						
	事業費 (億円)	前回計画		20.6				3.4			24.0	
		実績		18.9							18.9	
		今回計画		18.9				10.1			29.0	
	【進捗率】											
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率							
		計画 【①】	実績 【②】	達成率 【②÷①】	計画 【③】	達成率 【②÷③】						
	延長(km)	4.2	3.7	88%	5.7	65%						
	事業費(億円)	20.6	18.9	92%	29.0	65%						
	工事費(億円)	18.3	17.7	96%	26.1	68%						
	補償費(億円)	1.0	0.7	70%	1.0	70%						
	その他(億円)	1.3	0.5	38%	1.9	26%						
	【施工済みの内容】 用水路工 3.7km											
	【事後評価に準ずるフォローアップ】 該当なし。											
	2) 未着手又は長期化の理由	管路の埋設にあたり、想定以上の湧水が判明し、地下水位を低下させる仮設を追加する必要が生じ、毎年の事業量が限定されたため、事業期間の延長が必要となった。										
	3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 なし。 【今後の見込み】 事業期間を延長したことにより、ほぼ計画通り完了する見込みである。										
	判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 事業期間を延長したことにより、ほぼ計画通りの完成が見込まれるため。</p>										

③ 事業の効果の変化	1) 貨幣価値化可能な効果(費用対効果分析結果)の変化	<p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析の算定基礎となった要因変化の有無】 事前評価時からの農地面積の大きな変化はない。</p> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>事業採択時 (基準年:2015)</th> <th>再評価時 (基準年:2021)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用 (億円)</td> <td>当該事業による費用</td> <td>19.2</td> <td>28.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>関連施設の整備費等 注)</td> <td>63.1</td> <td>77.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 (C)</td> <td>82.3</td> <td>105.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">効果 (億円)</td> <td>作物生産効果</td> <td>57.6</td> <td>73.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>品質向上効果</td> <td>18.4</td> <td>29.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>営農経費節減効果</td> <td>8.2</td> <td>10.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費節減効果</td> <td>△7.1</td> <td>△9.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国産農産物安定供給効果</td> <td>11.6</td> <td>16.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 (B)</td> <td>88.8</td> <td>120.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(参考) 算定要因</td> <td>水稲作付面積 (ha)</td> <td>176.3</td> <td>176.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>普通畑作付面積 (ha)</td> <td>95.0</td> <td>95.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用対効果分析結果 (B/C)</td> <td>1.1</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※金額は、社会的割引率(4%)を用いて現在の価値に換算したものの。 注) 関連施設の整備費用等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連施設：当該施設と一体となって効用を発揮するもので頭首工や幹線水路など ・ 評価期間：48年(当該事業の工事期間8年+40年) ・ 算定式：新規整備費+再整備費+事業着工時点の資産価格-評価期間終了時点の資産価格 <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析手法】 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」(2015年9月 農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課監修)に基づき算定。</p> <p>【変動要因の分析】 費用・効果ともに現在の価値に換算したことにより上昇しているものの、算定基礎となった受益面積等に大きな変動はないため、費用対効果分析結果は1.1となった。</p>	区 分		事業採択時 (基準年:2015)	再評価時 (基準年:2021)	備考	費用 (億円)	当該事業による費用	19.2	28.2		関連施設の整備費等 注)	63.1	77.2		合計 (C)	82.3	105.4		効果 (億円)	作物生産効果	57.6	73.6		品質向上効果	18.4	29.6		営農経費節減効果	8.2	10.2		維持管理費節減効果	△7.1	△9.5		国産農産物安定供給効果	11.6	16.5		合計 (B)	88.8	120.4		(参考) 算定要因	水稲作付面積 (ha)	176.3	176.3			普通畑作付面積 (ha)	95.0	95.0		費用対効果分析結果 (B/C)		1.1	1.1	
	区 分		事業採択時 (基準年:2015)	再評価時 (基準年:2021)	備考																																																							
	費用 (億円)	当該事業による費用	19.2	28.2																																																								
関連施設の整備費等 注)		63.1	77.2																																																									
合計 (C)		82.3	105.4																																																									
効果 (億円)	作物生産効果	57.6	73.6																																																									
	品質向上効果	18.4	29.6																																																									
	営農経費節減効果	8.2	10.2																																																									
	維持管理費節減効果	△7.1	△9.5																																																									
	国産農産物安定供給効果	11.6	16.5																																																									
	合計 (B)	88.8	120.4																																																									
	(参考) 算定要因	水稲作付面積 (ha)	176.3	176.3																																																								
	普通畑作付面積 (ha)	95.0	95.0																																																									
費用対効果分析結果 (B/C)		1.1	1.1																																																									
2) 貨幣価値化困難な効果の変化	<p>【事前評価時の状況】 該当なし。</p> <p>【再評価時の状況】 該当なし。</p> <p>【変動要因の分析】 該当なし。</p>																																																											
判定	<p>A</p> <p>○A：前回評価時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。 B：前回評価時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。 C：前回評価時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p> <p>【理由】 事前評価時からの大きな効果の変化はないため。</p>																																																											

Ⅲ 対応方針（案）	
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 ・ 営農状況及び担い手農家への農地利用集積率の確認	
Ⅴ 事業評価監視委員会の意見	
Ⅵ 対応方針	